

あとがき

現在は6月半ば、梅雨空を見上げながらこの文章を書いています。

私は眼科医として40年のキャリアを迎えようとしており、退官も間近に迫っています。その間、社会の変化は驚くべきものでしたが、眼科医療の進歩もまた著しいものでした。私が入局した頃、白内障手術の主流は囊内法でしたが、その後、水晶体超音波乳化吸引術と眼内レンズの導入により、眼科医療は一変しました。網膜治療においても、硝子体手術の隆盛が網膜剥離手術を大きく変革し、さらに抗VEGF薬の登場が網膜学の進歩に寄与しました。90年代には遺伝子研究が医療を変えと言われていましたが、それ以上に検査機器の進歩が眼科の世界を変えたと感じます。当然ながら、対象となる疾患も大きく変わりました。私の専門である網膜分野において、90年代までは糖尿病網膜症の克服が大きな目標でしたが、2000年代になると滲出型加齢黄斑変性の克服が目標となり、最近では地図状網脈絡膜萎縮の治療が現実的な目標になりつつあります。

しかしながら、本号を読んで感じたのは、人間の行動が影響する「疾患」は変わらないということです。私が駆け出しの頃、先輩から「眼底疾患を見たら梅毒を疑え」と教わりましたが、その後、梅毒患者数が激減し、外来診療で梅毒患者を診る機会はほとんどありませんでした。しかし、最近では再び梅毒患者数が増加しており、外来で梅毒患者を診ることが増えています。本号にも梅毒に関する論文が掲載されているのは、その反映かもしれません。多くの技術の進歩によって、人類は進歩したように感じることもありますが、人間そのものは短期間で変わるものではなく、病原体や疾患との関係も変わらないのだと思います。私たち医療者は、常に謙虚な気持ちで病気や人間に向き合うべきであるという、自然あるいは神からの警告なのかもしれません。

(坂本泰二)

編集顧問	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅養三	西田輝夫	水流忠彦	根木 昭
	寺崎浩子	下村嘉一	井上幸次	鈴木康之			
編集委員	坂本泰二	稲谷 大	堀 裕一	西口康二	黒坂大次郎	蕪城俊克	

臨床眼科 (第78巻 第8号)

2024年8月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 3,190 円 (本体 2,900 円+税 10%)

(2024 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担))
冊子版 47,520 円
電子版 (個人) 44,154 円
冊子+電子版 (個人) 49,654 円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売・PR 部直通 (03) 3817-5659

印刷所 三報社印刷(株)

広告取扱 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 (株) 医学書院販売・PR 部 電話 (03) 3817-5696

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2024, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 山本・鶴淵・小路